

# FESC

非管理版

規格番号	D 004-19
配付番号	
配付日	

## 緊急通報装置の性能評定実施細目



1991年04月22日 制定  
1997年10月01日 改正  
1999年06月01日 確認  
2001年04月25日 改正  
2006年07月28日 確認  
2011年08月05日 確認  
2013年04月01日 改正  
2018年04月01日 確認  
2019年10月01日 改正

一般財団法人日本消防設備安全センター 認定制度審議会 審議

(一般財団法人日本消防設備安全センター 発行)

## ○ 緊急通報装置の性能評定実施細目

この実施細目は、緊急通報装置の性能評定を行うに際し、消防防災用設備機器性能評定細則（以下「細則」という。）を補足するものである。

（型式評定等の範囲）

1 型式評定等の範囲は、次による。

- (1) 細則第3条の型式評定、細則第8条の型式変更評定、細則第11条の軽補正及び細則第12条の性能確認の範囲は、表1による。
- (2) 表1に規定する軽補正以外の軽微な変更は、届出とし、当該届出の様式は、細則別記様式第7号に準じる。

（設備機器基本設計事項資料）

2 細則第3条第1項第4号の設備機器基本設計事項資料は、次による。

(1) 構造、部品の名称、寸法及び材質等を明らかにした次に掲げる図面等とする。

- ア 寸法、名称を記入した完成品
- イ 寸法、名称（JIS（産業標準化法（昭和24年法律第185号）第20条第1項の日本産業規格をいう。以下同じ。）に規定する材質にあつては、JIS記号）
- ウ 電気回路図
- エ 構成品の組合せ図又は表
- オ 義務表示事項の内容、表示位置
- カ 使用方法
- キ 保守、点検要領説明書
- ク 信頼性試験

(2) 性能計算書

- ア 蓄積音声情報  
音声デジタル量の計算書
- イ 専用送信機の予備電源容量  
待機状態を60分間後（停電通報を含む。）に緊急通報を行えることができる容量があることの計算書
- ウ 無線式起動装置の電池容量  
待機状態1年経過後（通常の点検動作を含む。）に発報動作を行うことができる容量があることの計算書

（設備機器明細書）

3 細則第3条第1項第5号の設備機器明細書は、様式1号により、その記入は、次による。

- (1) 型式記入欄は、申請者の型式名を記入する。
- (2) 機能仕様欄は、緊急通報装置の緒元を記入する。

- (3) 電源電圧、容量欄は、専用送信機の常用電源及び予備電源について記入する。
- (4) 緊急通報装置の簡略な説明欄は、緊急通報装置の構成をブロックダイアグラム等で簡潔に記入する。

(試験品質計画書)

- 4 細則第3条第1項第6号ウの試験品質計画書は、様式2号による。

(指定試験設備)

- 5 細則第5条第1項及び細則第16条第1項第1号の指定試験設備は、表2による。

(型式評定等の試験方法等)

- 6 細則第3条の型式評定(細則第8条第4項で準用する型式変更評定を含む。)の試験項目、試験試料及び試験方法等は、次による。
  - (1) 試験項目及び試験試料は、表3による。
  - (2) 試験は、表3の試料全数について行う。
  - (3) 試験の結果は、様式3号の型式試験記録表に記入する。

(サーベイランス及び個別検査の検査方法等)

- 7 細則第16条第2項のサーベイランス及び細則第20条第7項の個別検査の検査項目、試料及び検査方法等は、次による。
  - (1) 検査項目及び試料は、表3による。
  - (2) 検査は、表4を用いた抜取り検査により行う。
  - (3) すべての型式を一括抜取とすることができ、一括抜取検査を希望するときは、様式4号により申請する。
    - なお、一括抜取検査とした型式は、以降の検査において別のロットとすることができない。
  - (4) 検査の結果は、様式第5号の個別検査記録表に記入する。
  - (5) 抜取検査における判定の対象となる欠点は、表5による。

**附 則**

この細目は、平成3年4月22日から実施する。

**附 則**

この細目は、平成9年10月1日から実施する。

**附 則**

この細目は、平成13年4月25日から実施する。

**附 則**

この細目は、平成25年4月1日から実施する。

**附 則**（令和元年10月1日消安セ規程第15号：工業標準化法一部改正関係）抄

この規程は、令和元年10月1日から実施する。

第2項第3号 別表（略）のうちの関係規程等（認定関係）及び（性能評定関係）のうち、品目ごとに定める実施細目の一部を次のとおり改正する。（略）

表 1

## 型式評定、型式変更評定、性能確認及び軽補正の範囲

型式評定	型式変更評定	性能確認	軽補正
著しく原型と異なる	1 性能に影響する 部品の構造、材質、 寸法の変更  2 モニター方法の 変更	1 遠隔起動装置、 予備電源、緊急通 報装置用 T A 等の 追加  2 その他の緊急通 報装置に影響を与 えない周辺機器等 の追加	1 性能に影響しな い部品の構造、材 質、寸法の変更  2 義務表示事項の 内容変更
その他消防防災用設備機器性能評定委員会が指定するもの			

表 2

## 指 定 試 験 設 備

品 名	仕 様	数 量	備考
関係法令・規程	設備等技術基準、試験基準及び判定基準、関係JIS	1 式	○
乱 数 表	JIS Z 9031	1 部	○
乾湿球温湿度計		1 個	○
寸 法 測 定 器	ノギス、マイクロメータ、巻尺、専用ゲージ等	1 式	○
ストップウォッチ	1/10秒計	1 個	○
試 験 装 置	試験方法及び判定基準の性能試験を電話回線を捕捉することなく行える擬似装置及び専用受信装置に代わる装置	1 式	○
電 圧 計	0.5級以上	1 式	
試験用電源装置	電圧変動試験ができるもの	1 式	
周波数測定器	通報信号音の波形及び周波数が測定できるもの	1 式	

備考欄中、○印を付した試験設備は、サーベイランスを受ける場合にも管理状況を確認する。

表 3

## 型式評定等の試験項目等及び個別検査等の検査項目等

試験項目 (検査項目)		型式評定、型式変更 評定の試料数	サーベイランス、 個別検査の試料数
外観、形状、構造、材質及び寸法試験		2	○
全般的動作試験		2	◎
性能 試験	手動起動装置試験	2	◎
	電話回線の捕捉試験	2	◎
	通報信号情報試験	2	◎
	蓄積音声情報試験	2	◎
	再呼出試験	2	◎
	通話機能試験	2	◎
	緊急通報機能への影響試験	2	◎
	予備電源切替試験	2	◎
	電圧変動試験	2	—
	停電通報及び復電通報試験	2	◎
表示試験		2	○

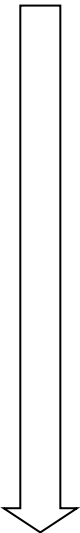
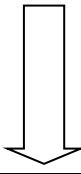
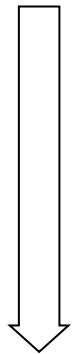
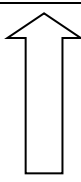


注1 表中○印は、表4の通常検査を、◎印は、同表の特別試料検査の数を示す。


- 2 サーベイランス又は個別検査において、試験設備の機能に異常がある場合又は検査途中で故障が生じ、所定の時間内に検査が終了する見込みがないと判断される場合は、検査を打ち切る。この場合において、ロットの合否の判定は、補正とする。


表4 (その1)

抜取検査の方法

(初回検査用)

ロットの 大きさ	通常検査						特別試料検査								
	試料の 大きさ	第1欠点		第2欠点		第3欠点		試料の 大きさ	第1欠点		第2欠点		第3欠点		
		Ac	Re	Ac	Re	Ac	Re		Ac	Re	Ac	Re	Ac	Re	
2~8	2							2	0 1		0 1		1 2		
9~15	2			0 1											
16~25	3			1 2											
26~50	5														
51~90	5			1 2											
91~150	8			2 3											
151~280	13	0 1		1 2		3 4		3	0 1		0 1		1 2		
281~500	20			2 3		5 6			0 1		0 1		1 2		
501 ~1,200	32			3 4		7 8			5		0 1		1 2		2 3
1,201 ~3,200	50	1 2		5 6		10 11		8	1 2		2 3		3 4		
3,201 ~10,000	80	2 3		7 8		14 15									
10,001 ~35,000	125	3 4		10 11		21 22									

 = 矢印の下方の最初の抜取方式を用いる。

 = 矢印の上方の最初の抜取方式を用いる。

試料の大きさがロットの大きさ以上になれば全数検査となる。

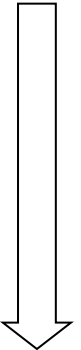







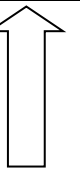
Ac=合格判定個数 Re=補正判定個数


ロットの合否の判定は、不良数がAc以下のときは合格とし、Re以上のときは補正とする。


表4 (その2)

抜取検査の方法

(補正検査用)

ロットの 大きさ	通常検査						特別試料検査							
	試料の 大きさ	第1欠点		第2欠点		第3欠点		試料の 大きさ	第1欠点		第2欠点		第3欠点	
		Ac	Re	Ac	Re	Ac	Re		Ac	Re	Ac	Re	Ac	Re
2~8	2							3	0	1	0	1	0	1
9~15	3			0 1										
16~25	5					1 2								
26~50	8					2 3								
51~90	13	0	1	1	2	3	4							
91~150	20			2 3		5 6								
151~280	32			3 4		7 8		5	0	1	1	2	2	3
281~500	50	1	2	5	6	10	11							
501 ~1,200	80	2	3	7	8	14	15	8	1	2	2	3	3	4
1,201 ~3,200	125	3	4	10	11	21	22	13	2	3	3	4	4	5
3,201 ~10,000	200	5	6	14	15									
10,001 ~35,000	315	7	8	21	22									

 = 矢印の下方の最初の抜取方式を用いる。

 = 矢印の上方の最初の抜取方式を用いる。

試料の大きさがロットの大きさ以上になれば全数検査となる。

Ac=合格判定個数 Re=不合格判定個数

ロットの合否の判定は、不良数がAc以下のときは合格とし、Re以上のときは不合格とする。



表 5

## 判定の対象となる欠点

欠点階級 検査項目	第 1 欠 点	第 2 欠 点	第 3 欠 点
外観、形状、構造 材質、寸法 表示試験	1 機能に影響のある構造、材質、寸法の不良 2 機能に影響のある部品の脱落	1 表示事項の脱落 2 部品、配線接続部の不良	1 機能に影響のない部品の脱落 2 表示事項の判断困難 3 仕上げ面の不良
全般的動作試験 性能試験	1 作動しない 2 過電流保護装置の不作動 3 表示装置の不作動	蓄積音声情報の不明瞭	装置のふたが容易に開かない装置の不良

注 1 1の試料において異なる階級の欠点がある場合は、それぞれの欠点を該当する階級の欠点に繰り入れる。

2 1の試料において同一の階級の欠点が2以上ある場合は、欠点を1とする。

様式 1 号

緊急通報装置の明細書

申請者

項 目	明 細					
型 式 記 号						
機 能 仕 様	1	回線容量				回線
	2	選択信号種別	DP20PPS、DP10PPS、PB			
	3	消費電力				V A
	4	予備電源作動時間 (定格作動時) 待機60分後				分
	5	停電通報起動までの設定時間				分
	6	無線起動装置 (1) 電波の到達距離 (見通し) (2) 電池の種類				m
	7	通報信号情報 (1) 記憶媒体の種類 (2) 対応する専用受信機 (3) 送出時間				秒
	8	蓄積音声情報 (1) 記憶媒体の種類、容量 (2) 音声合成方式 (3) 音質 (音声デジタル量) (4) 送出時間 (タイミング時間を含む。)				kbit/ s 秒
	9	ハンズフリー通話終了時間手順				
	10	緊急通報以外の機能				
電源電圧、容量	AC	V、	DC (	電池)	V mAH	
寸 法	専用送信機	たて	mm×よこ	mm×奥行	mm	
	無線式起動装置	たて	mm×よこ	mm×奥行	mm	
	有線式起動装置	たて	mm×よこ	mm×奥行	mm	
	ハンズフリー部	たて	mm×よこ	mm×奥行	mm	
無線式起動装置の質量					kg	
緊急通報装置の簡略な説明 (ブロックダイアグラム等)						

様式2号 試験品質計画書

<p>試験品目の管理</p>	<p>試験方法</p>	<p>試験結果のチェック</p>																		
<p>試験を実施する要員</p>		<p>報告書</p>																		
<p>施設及び環境</p>	<p>設備及び標準物質</p>	<p>計量トレーサビリティと校正</p> <table border="1" data-bbox="1368 1125 1635 1289"> <tr> <th colspan="3">申請者</th> </tr> <tr> <td>作成</td> <td>審査</td> <td>承認</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1691 1125 2047 1289"> <tr> <th colspan="3">一般財団法人日本消防設備安全センター</th> </tr> <tr> <td>受付</td> <td>確認</td> <td>承認</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	申請者			作成	審査	承認				一般財団法人日本消防設備安全センター			受付	確認	承認			
申請者																				
作成	審査	承認																		
一般財団法人日本消防設備安全センター																				
受付	確認	承認																		

様式 3 号

緊急通報装置 型式 (社内・立会) 試験記録		試験日	年月日		試験立会者	印	
		試験条件	開始時	終了時			
申請者		天候			実施者	印	
型式記号		温度	℃	℃		印	
試験場所		湿度	%	%			
試験項目		判定基準			試験料		
					No	No	
(1) 外 観 等 試 験	構造・形状・材質					良・否	良・否
	仕上がり状況					良・否	良・否
	寸 法  (mm)	専用送信機	±・±・±	±・±・±	±・±・±	±・±・±	
		無線式起動装置	±・±・±	±・±・±	±・±・±	±・±・±	
		有線式起動部	±・±・±	±・±・±	±・±・±	±・±・±	
(2)	全般的動作		手動起動装置が容易に操作可能か		良・否	良・否	
(3) 性  能  試 験	ア	手動起動装置試験		操作が円滑か	良・否	良・否	
				選択信号の送出が速やかに開始するか	秒	秒	
				作動したことを表示するか	良・否	良・否	
	イ	使用中の電話回線の捕捉試験		発信時に電話回線を捕捉できるか	良・否	良・否	
				着信時に電話回線を捕捉できるか	良・否	良・否	
	ウ	通報信号情報試験		通報信号情報に通報者識別番号及び緊急通報である旨を含んでいるか	良・否	良・否	
				通報先と交信できるか	良・否	良・否	
	エ	蓄積音声情報試験		メッセージに通報者識別番号及び緊急通報である旨を含んでいるか	良・否	良・否	
				メッセージは明瞭か	良・否	良・否	
				メッセージの音声送出時間は1分以内か	秒	秒	
				メッセージは冒頭から開始しているか	良・否	良・否	
	オ	再呼出し試験		再呼出しは2回以上か	良・否	良・否	
				次の通報先を呼び出し、通報信号情報又は蓄積音声情報を送り出すか	良・否	良・否	
	カ	通話機能試験		受話器による通話	良・否	良・否	
				ハンズフリーによる通話ができるか	良・否	良・否	
		ハンズフリー終了手順は、設定時間 (分) 経過後、通報先の電話回線の開放と連動しているか	良・否	良・否			
キ	予備電源切替試験		常用電源から予備電源へ、予備電源から常用電源に切り替わるか	良・否	良・否		
ク	電圧変動試験		常用電源の90 %及び110 %で手動起動装置により起動するか	良・否	良・否		
ケ	停電通報試験		常用電源を切断し、設定時間 (5~35分) の±10 %以内に停電通報が自動的に行えるか	分	分		
			通報は、通報信号情報又は蓄積音声情報か	良・否	良・否		
			通報内容に、停電通報である旨及び通報者識別番号を含んでいるか	良・否	良・否		

試 験 項 目		判 定 基 準	試 料			
			No	No		
コ	復電通報試験	常用電源が復旧したとき、復電通報が自動的に 行えるか	分	分		
		通報は、通報信号情報又は蓄積音声情報か	良・否	良・否		
		通報内容に、復電通報である旨及び通報者 識別番号を含んでいるか	良・否	良・否		
サ	緊急通報以外の機能 による影響（付属装置 試験）	緊急通報機能に支障ないか	良・否	良・否		
シ	無線式起動装置の電 波の飛び試験	専用送信機から10 m又は設定距離（10 m 以上 m）から、無線式起動装置を起動し たとき、専用送信機において受信可能か	良・否	良・否		
(4)	表 示 試 験	専用送信機に、次の表示が外面にあるか（e からhまでが、取扱説明書等にある場合は 除く。） a 装置の名称 b 評定番号及び型式記号 c 製造者名又は略号 d 製造年又は製造番号 e 定格電圧 f 予備電源の品名及び容量 g 専用受信機 h 取扱方法の概要及び注意事項	良・否	良・否		
		手動起動装置の操作部又はその周辺に、「手 動起動装置」の表示があるか	良・否	良・否		
備    考		評 定 番 号	評 一 号			
		消 防 防 災 用 設 備 機 器 性 能 評 定 委 員 会	判 定	合 格	補 正	不 合 格
			年 月 日	年 月 日		
			委 員 長	印		
		警 報 設 備 等 専 門 委 員 会	判 定	良	保 留	否
			年 月 日	年 月 日		
委 員 長	印					
実 施 者	判 定	良	保 留	否		

# 一括抜取申請書

年 月 日

一般財団法人日本消防設備安全センター

理事長 殿

申請者

住所

法人の名称

代表者の役職及び氏名

電話番号

下記の型式について、認定番号（ 号）と一括して個別検査を希望しますので、申請します。

記

設備等の種別	
認定番号	号
型式記号	
一括抜取り検査開始希望日	年 月 日

様式 5号

個別 (立会・社内) 検査記録表			判定		合格・補正・不合格		検査年月日		年 月 日			申請者												
緊急通報装置	型式別	区分	記号	番号	受検数		受検総数		ロット番号	検査条件	開始時	終了時	実施者	受検場所										
		A						天候			印													
		B						温度	℃		℃	印												
		C						湿度	%		%													
検査項目・内容			試料番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
			抜取番号																					
外 観	構造・形状・材質			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	
	仕上り状況			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	
	寸 法	専用送信機	± ± ±																					
		無線起動装置	± ± ±																					
		有線起動装置	± ± ±																					
表示			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	
性 能	全般的動作			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	検査項目・内容			試料番号		1	2	3	4	5					
	手動起動装置試験 (1回)	操作が容易、確實		良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	性 能	通話機能試験	受話器による通話			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否						
		選択信号の送出開始		秒	秒	秒	秒	ハンズフリー通話			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否									
		作動表示		良・否	良・否	良・否	良・否	良・否			ハンズフリー終了手順													
	電話回線の捕捉試験	発信時		良・否	良・否	良・否	良・否	良・否			緊急通報以外の機能による影響													
		受信時		良・否	良・否	良・否	良・否	良・否			予備電源切替試験			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否						
	通報信号試験	通報内容		良・否	良・否	良・否	良・否	良・否			停電通報試験	起動時間(設定 分)			分	分	分	分	分					
		信号送出時間		秒	秒	秒	秒	秒		通報種類(信号・音声)														
	蓄積音声 情報試験	通報内容		良・否	良・否	良・否	良・否	良・否		復電通報試験		通報内容			良・否	良・否	良・否	良・否	良・否					
		メッセージの明瞭さ		良・否	良・否	良・否	良・否	良・否				起動時間(設定 分)			分	分	分	分	分					
音声送り出し時間		秒	秒	秒	秒	秒	通報種類(信号・音声)																	
冒頭から開始		良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	通報内容				良・否	良・否	良・否	良・否	良・否									
備 考																								